

# 筑後川水系河川整備計画(変更原案)に対するご意見

令和4年6月30日  
国土交通省 九州地方整備局  
筑後川河川事務所

筑後川水系河川整備計画(変更原案)に対するご意見【インターネット、書面】

※いただいたご意見は、原文のまま記載しております。

整理番号	ご意見等
1	河川整備について、過去の洪水痕跡を正確に把握して頂き、実態に沿う安全な河川になるよう整備をお願いします。
2	寺内ダム、佐田川の治水機能向上は沿川住民の強い思いです。早急な事業実施を求めます。
3	大雨が降るたびに川から水があふれないか心配しています。川沿に自宅があるので、特に夜に大雨があると不安です。計画では平成29年災害の雨でも安全に川に流れることで、とても期待しています。早く工事の着工をお願いします。
4	H30年2月には寺内ダムが異常洪水時操作をする手前の事であったため、佐田川の整備計画をお願いした。一日も早く佐田川の整備事業に着手し、早期の完成をお願いします。
5	H30年3月には寺内ダムが異常洪水時操作をする手前の事であったため、佐田川の整備計画をお願いした。今回の整備計画変更案は良く出来ていると思います。ご苦労様でした。一日も早く佐田川の整備事業に着手し、早期の完成をお願いします。
6	梅雨時の佐田川、屋永地区付近の水量については危惧していました。今回の掘削整備や寺内ダムの洪水調節機能強化、本川と支川連携河川整備等整備計画変更案には大変期待いたします。早期の着工整備をお願い致します。本川がフズマリ状態で支川はオーバーフロー状態が解消する事を期待したいです。
7	毎年の豪雨に地域住民の命が脅かされているこの頃です。コミュニティ職員として、寺内ダムと佐田川の治水機能向上対策を要望してきましたが、整備計画の変更が提示され、嬉しく思っています。今後早急に事業が実施されるよう強く求めます。
8	早急な着工実現をお願いします。
9	机上で整備計画を何度作成してもただの計画。早期着工、改良実現してこそ本当の計画ではないですか。
10	寺内ダムと佐田川の治水機能向上は沿川住民の強い思いです。早急に事業に着手される事を求めます。

整理番号	ご意見等
11	平成29年7月九州北部豪雨とその後の毎年起きている寺内ダムへの計画流入量を超える洪水に対して、寺内ダムを含む佐田川の治水機能の見通しと対策を要望してきた。早く計画決定され早速事業に着手されることを強く望みます。
12	毎年同じ時期に身の危険を感じる雨が降っています。何年に一度とかの想定でその何年か何十年か先の豪雨に対する計画をたてては練り直しという作業ではとても間に合いません。危機に対する早急な実施をお願いします。計画がどんなに立派でもそれだけでは人の命は救えません。
13	「堤防の嵩上げ等」対策 『堤防整備箇所一覧表』の佐田川右岸の「地名：朝倉市小田」 堤防の高さが左岸と比較して低く、地域住民にとって、梅雨期の大雨時には何時も不安な状態にある。→地域住民の悲願である「(1)」対策について、是非とも早急な整備をお願いしたい。
14	よくわかりませんが、災害対策が進めばいいと思います。
15	寺内ダムと佐田川の治水機能向上は大切なこと。早急に着手されることを望みます。
16	素晴らしい計画ですので一刻も早く実現してください。
17	とりあえず早く災害の起きないようにしてほしい。
18	大雨の際に水位が高くなりこわいことも多い。早めの整備を進めてほしい。
19	特にありません。早く実施されることを希望します。
20	大雨の時大変不安であり、早急に水の対策をお願いします。

整理番号	ご意見等
21	早くお願いします。
22	過去の災害の復旧もまだ続く中ではありますが、ここ数年の気象に対応する整備を早く行ってほしい。
23	早くお願いします。
24	整備内容については素人なのでよく分かりませんが、災害はいつやってくるかわからないので早く整備を進めて欲しいです。
25	今回の変更原案で佐田川におけるダム施設改造等により、寺内ダム洪水調整容量を引き上げることに賛成します。このことで、下流域など特に治水安全度の確保のため早急な取り組みが必要です。
26	佐田川沿川に暮らす者の感想です。 近年出水期になると佐田川の河川水位が以前より高くなっていることを多く感じます。堤防嵩上げ、河川掘削、寺内ダムの容量(利水・治水比率)等を計画されているようだが、早期の対応をお願いしたい。
27	自然災害が頻発している昨今、河川地域の方の安全、河川の施設整備をお願いします。
28	自然な形での整備が大事と思いますが、河川の近くの地域の人達が少しでも安全に生活できる整備を望みます。
29	洪水被害の無い川づくり
30	計画の『基本理念』に示された「～安らぎと感動の筑後川～」に基づく、河川整備に取り組むに当たっての <u>五つの柱による川づくり</u> を積極的に推進して頂きたい。 特に、河川整備計画(変更)の要点に示された『堤防整備箇所』及び『掘削箇所』については、早期実現を図って頂きたい。
31	自然は大切ですが人が住みやすい安心安全な川に。

整理番号	ご意見等
32	洪水がおこらない、安全安心な川づくりを希望します。
33	安全な川づくり
34	安全な河川にしてほしい。
35	安心できる川
36	宝珠山の勤務先から(H29年)帰る時に大変な思いをしたし、H30年には久留米のバイパスで動けなくなり一夜をすごして朝帰ったので、安全な筑後川を期待しています。
37	枯渇せず氾濫しない筑後川に少しでも近づくようご尽力お願いします。
38	災害がなく住民が安心して暮らせる川づくりを望む。
39	安全な川が一番
40	毎年梅雨時期に堤防進入路のセキ板取り付けを行っているが、みんな老齢になりいつまでできるかわからないので、かさ上げのない堤防づくりをお願いしたい。
41	添付写真のように毎年梅雨期前になったら、自分達の所は自分で守ると先人達から学んだことを続け、今年も無事に積土俵が終わりました。しかし作業に当たった者は60～70代の13名で今後何年続くことか？堤防の早期改良を期待しています。
42	今回、河川整備計画に対する変更点が多くありました。時間経過と共にいろいろな点で見直されての事と存じますが、こられが実施され完成する頃には果たしてこれで充分と言えるのでしょうか？完成までに時間(年数)をかけず速やかに形にしてほしいと思います。

整理番号	ご意見等
43	早くしてください。
44	現在河川上にある井堰はどう対処するのでしょうか。安心安全な河川整備がなされる事を願っています。
45	整備計画の変更もわかるが、合流点から2/000までの改修(拡幅・嵩上)が先決ではないか。堤防からの漏水も多数箇所有、この部分は昭和28年災害以降手がつけられていないのでは。矢部川のように破堤したら大災害となる。この場合、人災として国、関係者を提訴する事になります。(漏水の事実も知られており、未改修である)
46	佐田川沿川に住む人間ですが、毎年のように佐田川が氾濫しないか心配しています。桂川も毎年同じ状況だと聞いています。いくら上流の方で対策をとられても、筑後川に流れ込むため本川の水位が高ければ効果がないと思います。定期的な本川の浚せつ、排水機場の設置を強く要望します。
47	佐田川の小田橋の上下流にカヤヤシが多量に茂み、草原の様になり水の流れる水筋がうねり汚水がとどこおったり、流れにくくなり多量の雨が降ると氾濫しそうになります。今後の事を思うと大変心配です。早急に掘削をお願いします。
48	佐田川の件。小田橋付近は萱か草が多量堆積した土砂の上にうっとうしい程多量に広範囲に茂み、流水道がうねり流れが大変悪くなり、濁水が溜まる場所多数あり、多量の雨が降ると水位が急激に上がり氾濫の心配が毎年おきる。早急に浚渫をお願いしたい。小田付近は掘削の計画無し、なぜか。
49	河川整備計画案の掘削箇所一覧に小田がないが何故か。
50	整備計画を見たところ掘削箇所として朝倉市小田の表記がありません。計画がないということか、記入もれか理由を伺いたい。
51	小田地区の土砂を早く取り除く
52	堆積が多い小田地区の掘削(河道)が無いのはなぜでしょうか。上記の土砂の堆積物を浚渫し川底を住宅地よりも低くした方が対応が早いと思います。又、雑草を刈れば流れもスムーズになるのでは？

整理番号	ご意見等
53	甘木市、朝倉市が入り乱れています。(P5の表)大刀洗町金丸→朝倉市金丸では。掘削箇所一覧表に朝倉市小田地区がないのは？(土砂が一番多いと思います。)
54	佐田川寺内ダム下流堤防嵩上げには反対します。川底の土砂を撤去するのが先じゃないでしょうか。天井川になってしまい更に被害をまねくようになります。
55	河川は治水利水の機能と併せて、生物の生存にとっても大事なものです。また、沿川住民にとっての憩いの場でもあります。河川環境の整備、堆積土砂の搬出等、定期的な維持管理をお願いします。
56	今回の河川整備計画の変更部分には、直接関係ないかもしれないが、支川からの排水をしやすくすることに関連して申し上げたい。平成29年豪雨災害以降、筑後川本川には大量の土砂が流入して堆積が著しい。朝倉三島地区、原鶴温泉付近など、特に大石堰上流の赤谷川合流部では大量の土砂堆積で支川の流れ込みが阻害されているのではないかと心配している。河川維持上の浚渫ということになるかもしれないが、対応願いたい。
57	佐田川橋と佐田川大橋の間に生活する者です。近年佐田川の水量が増しあふれるのではないかと感じる事があります。河川敷の浚渫が行われると少し違うのではないかと思います。
58	相窪(立石地区)の住民です。大雨の後に佐田川の水量を見に行っていますが、近年水量が増えているような感じがします。(気のせいでしょうか)色々考えると長年浚渫が行われていないことに気付きました。浚渫されるとまた違ってくると思いますが、如何でしょうか。
59	佐田川橋から佐田川大橋をほぼ毎日散歩している者です。近年、大雨の後の佐田川の水量は土手をあふれるのではないかと考えるほどです。何か対策をとらないとそのうちオーバーフローを起こすのではないかと心配しています。中規模河川ですが、まず浚渫していただき、今後予想されるオーバーフローに備えていただきたいと思います。

整理番号	ご意見等
60	<p>「川底の土砂浚渫」対策  ・寺内ダムから筑後川に至るまでの間  河川の川底中心部分に土砂が相当堆積し、かつ葦が繁茂しており、これらの要因により、大雨時には河川流量の圧力で左岸・右岸の堤防に負荷がかかり、特に、朝倉市小田・屋永付近の左岸においては、年々堤防の損壊が発生し危険な状態にある。</p> <p>・佐田川右岸の「地名：朝倉市小田」の小田橋下流付近  雨水排水路の佐田川への流出口付近に土砂が相当堆積し、かつ葦が繁茂しており、これらの要因により、大雨時に佐田川への雨水の流出が不能となり、雨水排水路上流域地域住民の民家等においては、毎年、内水氾濫による浸水被害が発生している。</p> <p>・佐田川右岸の「地名：朝倉市小田」の入龍神社付近  小河川の佐田川への流出口付近に土砂が相当堆積し、かつ葦が繁茂しており、これらの要因により、大雨時に佐田川への雨水の流出に支障を来しており、小河川上流部分の農地については、毎年、内水氾濫による冠水被害発生している。</p> <p>→「川底の土砂浚渫」対策について、是非とも早急な整備をお願いしたい。併せて、定期的な整備をお願いしたい。</p>
61	土砂流入で浅くなっている所を今後どうするのか。
62	朝倉市堤は一本の用水路がすべて佐田川に流れ込み、雨量が多い時は佐田川の水位が上がり用水路の水位が上がり越水します。草刈りは行われていますが、中心部分に土がたまり、川の掘削をし水が流れるようにしてほしいと思います。
63	筑後川に限らず河川に堆積した土砂の撤去をして頂きたい。また、河川の両岸草刈は行われているが、流れに近いところも草刈りして頂きたい。
64	河川は治水利水の機能と併せて、生物の生存にとって大事なものと考えます。同時に沿川住民にとっては憩いの場でもあります。河川環境の整備、堆積土砂の搬出等、定期的な維持管理をお願いします。
65	流域の人工林の中には、地面に草が生えてない地域もあり、時間雨量が100mm/hが多発するなか、土砂流出、土木流の発生などを心配します。
66	地区住民からは、29年豪雨災害以降、川底に土砂が堆積し、すぐに川の水位が上がると、心配の声を聞いています。今回の整備計画事業箇所以外の場所も、定期的な堆積土砂の搬出をお願いしたいと思います。それによって安心して住める、ふるさと朝倉を実現してほしいです。
67	中州のないスムーズに流れる川づくり



整理番号	ご意見等
68	中州のないスムーズに流れる河川を望みます。特に佐田川は中州が多く、大雨の場合、堤防近くまで水位が上がります。その為毎年地元の高齢者中心に土のう積みを行っています。中州の除去を。
69	中州の中は草ばかりなので水が流れない
70	筑後川の水は全国他の大河に比して濁っています。清流ではないでしょう。夜明けダム、筑後大堰が原因かもしれません。せめて安全な大河と河畔を築けていけたらと思っています。又、川の中に繋っている大きな樹木は切るべきではないでしょうか。今後の大雨で流されれば筑後大堰、有明海に甚大な被害をもたらすでしょう。
71	河川に対する治水利水は大切な機能ですので、災害時だけでなく平常時でも住民が安心して親しめる川作りを目指してほしいと思います。河川環境の整備、堆積土砂の搬出等、定期的な維持管理をお願いします。
72	以前の様に深くして、保水して欲しい。
73	原鶴あたりは少しは土砂の撤去があったようですが、朝倉流域ではまだまだ溜まっています。佐田川の水がスムーズに筑後川に流れ込んでこそ水害はなくなります。以前は川砂取りなどもありましたが、復活することはできないのでしょうか。
74	筑後川及びその支流も含め、堆積した土砂を撤去し流れを良くして欲しい。特に有明海に流入しやすいように、各水門付近の流れを良くして欲しい。
75	桂川は日本でも有数の気象魚類の生息地であるそうです。(また聞きのため不明確)このため、河川整備等を行った後はその環境維持のため、定期的な維持管理(堆積土の撤去、不要なものの除去、草刈り等)をお願いしたい。
76	環境や自然に配慮した整備も必要と思いますが、不必要な寄洲の撤去や河川の河道掘削などの維持管理が大切である。
77	自宅前の佐田川の中州が毎年長くなり、河川の中に「カヤ」が茂って流れが悪くなっている。早急に改善を要望します。

整理番号	ご意見等
78	見廻りはしているはずなのに、今の状態で良しの判断なのか。何年も手つかずのまま年々悪くなるばかり。住民皆心配の毎日で、早急に浚渫を。
79	日々巡回されている車を見ます。巡回して危険な箇所を把握されていると思いますが、佐田川の状況も御存知のはず。佐田川は昔に比べて土砂が増えました。5年前の九州北部豪雨の状況を見ると、土砂撤去が最優先と思いますが、いかがですか。
80	(添付写真) 中州に繋がった「カヤ」、この状態で水がスムーズに流れるか？
81	河川整備の際は、従来の生態系への影響を最小限にさせていただきますようお願いします。小郡市内ため池～大刀洗川排水機場に外来水草(ナガエツルノゲイトウ)が大量に生えており、流れの阻害や水門操作に影響が出るおそれがあります。関係機関と連携し対策をお願いします。
82	立石地区の堤、古賀の両地区を流れている牟田川、ひょうたん池、古賀地区内の川路は流量を佐田川へ流し切れる規模ではありません。まして佐田川の佐田川橋から上屋永橋までの川底が上がって、古賀地区へのバックウォーター現象も心配されます。よってひょうたん池から佐田川への流路改修と佐田川橋から上屋永橋までの川底改修を要望します。
83	特に、寺内ダム湖底の土砂の堆積が懸念されることから、その対策を図りたい。
84	実態に沿う安全な河川になるような整備、堆積土砂の撤去等、定期的な維持管理をお願いします。
85	梅雨時の佐田川、屋永地区付近の水量については危惧していました。今回の掘削整備や寺内ダムの洪水調節機能強化、本川と支川連携河川整備等整備計画変更案には大変期待いたします。早期の着工整備をお願い致します。本川がフズマリ状態で支川はオーバーフロー状態が解消する事を期待したいです。
86	近年頻発する豪雨災害に対し、筑後川水系の治水、特に内水被害軽減に資する対策を強く求めます。
87	毎年のように農業被害、排水能力の大幅向上と対策を強く求める。

整理番号	ご意見等
88	<p>河川の整備においては、周辺から河川への排水に支障がないような対策を求めます。特に小田橋上流では堤防が切れている所があり河川の流量が増えると心配です。</p> <p>また、本原案の堤防整備箇所でもある下流浸水被害常習地域の内水被害軽減を強く求めます。</p>
89	<p>河川管理者のため、各所の築堤・河道掘削により目標流量が流れるようになり、下流まで水は流れますが、高潮対策を含めて市街地の浸水対策が充実しないと近年毎年浸水している箇所も実際あるので、周辺地域の自治体・住民等の連携を強化して内水対策も並行して強化を図ってください。捌ける能力、溜める能力、制御する能力、減らす能力を流域全体でそれぞれの役割・目標を明示目指して下さい。</p>
90	<p>佐田川下流域において、平成29年から5年連続で家屋の浸水被害や道路及び農地の冠水被害が生じており、今回の見直しで追加される河道掘削の影響が思料されます。</p> <p>近年連続して下流域で被害が発生していることを鑑みると、より具体的な対策を検討する旨を明記していただくことを必要であると考えます。そこで、今回の河川整備計画では、佐田川流末処理の実施検討について記載して頂く等、より具体的な対策を検討する旨を明記してもらうことが望ましいと考えます。</p>
91	<p>過去5年程は気象変動による影響か、佐田川の水量が上がっているのを毎年実感しています。今回の寺内ダム再生事業及び佐田川堤防整備、掘削工事等の事業は大変喜ばしく思っております。ただ、佐田川へ流れ込む支流で内水氾濫が発生しております。佐田川へ流れ込む立石地区古賀の通称ひょうたん池と呼ばれる水系です。このひょうたん池からの佐田川への水流改良を強く願うところです。</p>
92	<p>佐田川の流量能力はほぼ限界に近付いていると考えます。</p> <p>大刀洗町床島、佐田川と長田川合流(サイフォンで実際は合流ではない)付近の佐田川橋は橋桁まで水位が上がっている。筑後川本流に流れ込まないのが原因と思われる。早期の筑後川「本流」の抜本的な改修が必要と思われる。(河道掘削、拡幅等)</p>
93	<p>堤防整備箇所でもある下流浸水被害常習地域の内水被害軽減、早急に対策を行ってほしい。</p>
94	<p>長田川のサイホンを直接佐田川に排水できるようにして内水排水の能力が上がるように佐田川の河床も掘削して排水効果が上がるようにしてもらいたい。</p>
95	<p>長田川は佐田川の水位が上がると内水氾濫が発生するので、ポンプ施設の設置(片ノ瀬事務所等がたびたび仮設ポンプ設置)</p>
96	<p>佐田川沿川に住む人間ですが、毎年のように佐田川が氾濫しないか心配しています。桂川も毎年同じ状況だと聞いています。</p> <p>いくら上流の方で対策をとられても、筑後川に流れ込むため本川の水位が高ければ効果がないと思います。定期的な本川の浚せつ、排水機場の設置を強く要望します。</p>

整理番号	ご意見等
97	近年筑後川の河川水位が急上昇しています。筑後川の河川水位上昇と佐田川など支川の洪水による水位上昇も同時に発生していることを確認しています。本川、支川の同時水位上昇は支川への逆流、バックウォーター現象となっているようです。その点の対策も十分考慮されるよう求めます。
98	内水対策で排水機場から排水するにしても本川に余裕がないと本川自体が危険になる。まず、本川の改修が最も重要だと思います。
99	佐田川、桂川等の支川が筑後川本流への合流部の接合にも改修を考えていただきたい。 佐田川、桂川、長田川の総合的な河川整備を行ってほしい。 朝倉市蜷城地区では、佐田川、寺内ダム、桂川、長田川、筑後川の影響を大きく受けている。200年前松岡三代の「湿抜き事業」では近隣の藩を超えた集落を動員して成し遂げている。現在もそのような規模で抜本的対策を行うべきではないか。
100	内水被害がおきない様、筑後川の排水能力が向上するような対策をお願いします。
101	筑後川の河床の掘削をして支川の排水能力が上がるようにしてほしい。逆流が起きて被害が出ている。
102	近年、筑後川の河川水位が上昇しています。それと同時に佐田川などの支川の洪水による水位上昇も同時に発生しています。その為、バックウォーター現象となっているようです。その対策も十分に考慮されるよう求めます。
103	筑後川水系の支川においては、内水氾濫が多発している。筑後川本流の機能が低下しているため、本流の水位上昇が急激になっているためだと考える。筑後川の河床掘削、堆積土砂の撤去が必要だと思う。
104	気象変動により豪雨災害が激甚化し頻発している。その中で既存ダムを含む河川整備等の計画変更にあっては、気象変動を考慮した事前放流を可能とするよう強く求める。

整理番号	ご意見等
105	近頃では筑後川の河川水位が急に上昇することがあります。筑後川の水が多いときにそこに流れるべき佐田川や県営河川が流れ出ず、浸水に悩まされます。気候変動に対応できる計画であることを望みます。
106	豪雨被害が激甚化し頻発しています。気候変動によると言われています。既存ダムを含む河川整備にあたっては、気候変動を考慮した事前放流を可能とする施設整備として頂くようお願いいたします。
107	川づくり(S28洪水以降)が進められ、安心して生活できる姿が形成されてきていると感じていましたが、H24、29～R3など豪雨に肝を冷やしています。「気候変動」「異常気象」という言葉もよく耳にします。そういった変化、変動に耐え得る川づくりを行ってください。未来の子供たちが安心して生活し、愛着を持てる「筑後川」になりますように。
108	近年の豪雨は河川整備計画やダムの治水計画を上回る洪水となっていると感じています。対応をお願いしたい。
109	近年、気象変動が大きく、豪雨災害が頻発しています。気象変動を考慮した対策をお願いします。
110	下流域への浸水負担軽減の取組みを更に進めていただき、流域全体での流域治水の取組の推進のため国のリーダーシップをとっていただきたい。
111	田畑など流域の土地利用が変化している時代だと思うので、貯留や遊水機能の向上で河川に流さず貯める力もつけていくことが大切だと思いました。また、上下流ごとの流域治水における役割分担も大事だと思いました。
112	気象変動を考慮した事前放流を可能とした施設整備をしていただけるようお願い致します。
113	あらゆる関係者が連携し流域全体で実施する治水対策「流域治水」による筑後川流域の強靱化を推進することで洪水氾濫等による災害の発生防止又は、軽減を図ることが果たして本当に出来るのであろうか。そうあってほしい。想定外の想定を想定する事も必要と思う。
114	即効性のある計画をして、流域治水(田んぼダム等)の活用も検討して頂ければ。

整理番号	ご意見等
115	<p>今回佐田川がクローズアップされている。根本的に筑後川で洪水を調整、調節すべきだと思います。中・下流には大山ダムをはじめ合所、寺内、江川、小石原などダムがあり、大雨のコントロールができるかもしれませんが、東部からの流入に対するコントロールが未整備だと感じます。玖珠川の河川改修が実施されていますが、玖珠が整備されると、その下流は更に大変になります。一気に流れ込むではありませんか。玖珠川にも調整、調節機能を有する施設(ダムなど)を作るべきではありませんか。筑後地区、とくに久留米市のような経済中心地がダメージを負うばかりです。地域での取り組みに頼るのであれば、国から直営相当の金銭の補助(10割)などで地域自治体の支援をすべきです。河川沿川住民だけが負担になっていると感じます。</p>
116	<p>寺内ダムには大量の土砂が堆積したままになっています。ダムの再生事業では堆積土砂を撤去して頂き、また、今後も流出してくるであろう土砂対策施設も整備されるべきと考えます。</p>
117	<p>寺内ダムには大量の土砂が堆積したままになっています。上流の佐田川、黒川の河川の両端は災害復旧工事でコンクリートブロックで雨と一緒に土砂はダムに流れ込みます。ダムの再生事業では、堆積土砂の撤去だけでなく上流の土砂対策施設も整備されるよう求めます。</p>
118	<p>この整備計画については基本的に賛成です。しかし寺内ダムの現状を見て、寺内ダムの機能回復にはほど遠いと思います。寺内ダムには大量の土砂が堆積しています。堆積土砂の撤去、また今後も流出してくる土砂対策が行われるべきと思います。</p>
119	<p>寺内ダムの大量の土砂堆積の撤去(計画的に)を行う。</p>
120	<p>寺内ダムの堆積土砂を計画的に撤去することをお願いします。</p>
121	<p>仕事の関係で毎日寺内ダムを見ていますが、土砂等水害時のまま放置されており、貯水量は当所の半分位と思われる。このまま放置されれば、農業用水の不足は元より、災害時には対応出来ないのではと、非常に心配です。</p>
122	<p>寺内ダム湖底の堆積物の撤去及び佐田川の砂利の撤去、佐田川に流れ込む側溝の拡張をお願いします。</p>
123	<p>寺内ダムの土砂を浚渫することが大切です。</p>

整理番号	ご意見等
124	河川は治水利水の機能と併せて、生物の生存にとっても大事なものです。また、沿川住民にとっての憩いの場でもあります。河川環境の整備、堆積土砂の搬出等、定期的な維持管理をお願いします。
125	河川は治水利水の機能と併せて、生物の生存にとって大事なものと考えます。同時に沿川住民にとっては憩いの場でもあります。河川環境の整備、堆積土砂の搬出等、定期的な維持管理をお願いします。
126	常に安全に流れている川。佐田川は水が流れていない時もあります。安全も望みますが、川に水がないのも景色としては、さみしいです。
127	中州のない静かな流れの川で魚類多い川を望みます。(鮎がいません。鵜飼いも削減)
128	できるだけ自然に、人間にやさしい川づくり
129	少しずつでももっときれいな川になるといいと思う。
130	筑後川の水は全国他の大河に比して濁っています。清流ではないでしょう。夜明けダム、筑後大堰が原因かもしれません。せめて安全な大河と河畔を築けていけたらと思っています。又、川の中に繁っている大きな樹木は切るべきではないでしょうか。今後の大雨で流されれば筑後大堰、有明海に甚大な被害をもたらすでしょう。
131	淡水魚や鳥類などが棲める環境と自然豊かな川の風景をいつまでも残していきたい。
132	自然豊かな川
133	堤防の整備を行いキレイな川にしてほしい。
134	生き物にやさしく。



整理番号	ご意見等
135	河川は治水利水の機能と併せて、生物の生存及び住民の憩いの場として大事と考えますので、河川環境の整備をお願いします。
136	本来、多自然川づくりが望まれますが、災害に強い流路など平面形状や横断形状等、河川改修による環境変化を考慮すべきだと思います。
137	扇状地を流れる佐田川では流水が覆没して瀬切れを起こさない。そして、魚類等の遡上が出来るといい。色んな生き物が生息できる環境が望ましい。そして、氾濫・浸水・決壊しない川であってほしい。
138	九州北部豪雨の復旧工事で佐田川、黒川他多数の支川が三面側溝になってしまい残念です。
139	河川整備の際は、従来の生態系への影響を最小限にさせていただきますようお願いします。小郡市内ため池～大刀洗川排水機場に外来水草(ナガエツルノゲイトウ)が大量に生えており、流れの阻害や水門操作に影響が出るおそれがあります。関係機関と連携し対策をお願いします。
140	筑後川は様々な恵みを与えてくれる川だと思っておりましたが、昨今災害が頻繁に発生する中、その対策に真っ先に努めて頂きたいと思っています。徐々に遊べる空間等整備されたらと願っています。
141	河道部分の雑草を定期的に刈ってもらい散歩道(遊歩道)を設けて地域の健康作り、和の作りにもしてもらいたい。
142	まずは筑後川本川のみでなく支川も含めて安全であることを望みます。次に河川周辺住民だけでなく、広く多くの人に親しみを持ってもらえるような川づくりをお願いします。
143	親しみやすい川づくりを望みます。
144	出水時には川は怖いものになると思います。しかし、川からの恵も多くあるので、そういった親水空間など子どもたちへの学びも大切だと思います。
145	安全な河川であることが前提になりますが、住民が近づき易く利用できるような河川環境にして頂いて、“親しみのある川”地域の活性化の源になる様な景観、魅力的な河辺の創出をお願いします。 可能なら、下流から上流まで安全に繋がったりバーサイドマラソンや筑後川ロードレースができる様なサイクルロードを目指して下さい。フルとか100kmとか整えば個性が生まれます。



整理番号	ご意見等
146	少し土手幅を広くして、三奈木から大堰までのサイクリングコースを作って頂きたい。
147	河川に対する治水利水は大切な機能ですので、災害時だけでなく平常時でも住民が安心して親しめる川作りを目指してほしいと思います。河川環境の整備、堆積土砂の搬出等、定期的な維持管理をお願いします。
148	大堰までの散歩コースがほしいです。
149	中規模の河川ですが、散歩コースなどができると楽しいだろうと考えています。
150	筑後川サイクリングロードをたまに利用します。万一のときに水を受け取る河川敷部分を作りつつ、平時は有効に利用できることはよいと思うので、すすめていってほしいです。
151	水辺で遊べるようなものが欲しいです。
152	鵜飼いなどの観光面の対策も図る。
153	海辺には海釣公園が整備されています。河川にも川釣公園があってもいいのではないのでしょうか？ 寺内ダム下流の佐田川には結構な人数の釣人を見掛けますが、釣場(足場)の整備がなく危険もあります。川釣公園なるものを設置しては如何でしょうか。
154	老人から小人までが安心して水遊びが出来るような設備環境の設置。 毎年梅雨時期はハラハラ、夜間降雨時は熟睡出来ません。
155	よく分かりませんが、元々よく洪水を起こすような川だったと思うので、まめに計画を見直しているのはよいことだし大事なことだと思います。 アプリなどで川の状況を確認できるようになるのは、見に行ってしまう人をなくして、かつ非難の判断に役立つので更に進捗してほしいです。

整理番号	ご意見等
156	令和3年8月12日～14日にかけて大雨が降り、8月14日午前7時に寺内ダムより洪水調節放流の通告があり、14日～15日に最大159.43m <sup>3</sup> /sの大放流がありました。たまたま大きな被害は報告されませんでした。通告から1時間後、住民への連絡は不可能でした。この様な対応、住民の命をどのように考えているのでしょうか。
157	水浸常習地区の中心に、浸水しない場所(どこからでも直ぐに短時間で避難できる)と避難経路の造成。車も含めて。テレビ・ラジオを利用していない人への気象情報と避難時期の伝達の方法
158	大雨時の洪水調整放流の通告時は、電光掲示板を数ヶ所に設置をお願いしたい。
159	堤防道路の道を広くして欲しい。 洪水のない川にして欲しい。
160	最近、雨の中久留米へ行く場合、筑後川の堤防が一番安全な場所としてつくづく感じます。もう少し堤防幅員を広くして下さい。
161	筑後川の堤防を安全で通行しやすくしてほしいです。
162	ダムの役割を伝える努力をして頂きたい。 ダムと防災の情報が少ない。学ぶ、知る機会を作って欲しい。
163	寺内ダムと佐田川の治水機能向上は沿川住民の強い思いです。事業実施に当たっては、沿川住民の意見をよく聞いて頂き、事業も実施されるよう求めます。
164	安全な河川整備を進めるには、周辺住民や収用される住民の協力があって成立するものですから、皆が納得、誇れるような川づくりをお願いします。
165	整備計画変更案は良く出来ていると思います。早急をお願いします

整理番号	ご意見等
166	同水系の意見を募集されるアンケートですが、一言苦言を申し上げます。 私は佐田川の隣に住み、現在区会長をしています。地区内の雨水等の排水出口付近の掘削を朝倉市を通じ文書で要望書を4月に提出しましたが、何の解答連絡もありません。国の行政機関には大変失望しました。
167	(P93)河川整備基本方針として150年に1回の確率で発生する洪水現象に向けて・・・とあるが、現在の宝満川や筑後川本川の断面は50年に1回の確率での整備ということですか？150年確率に見合う改修予定はありますか？
168	防災・減災対策をお願いします。
169	ダム上流で土砂を食い止める、貯砂ダムを整備して欲しい
170	治水機能が増すことは喜ばしいことである。
171	H29年北部豪雨時の貴職の対応並びに治水としてのダムの有意性には深甚なる感謝をしております。 今回の整備計画につきましては異議なく賛同いたします。 寺内ダム下流佐田川は季節により流水がない時季もあります。従って利水を抑え放水流量が増えることは河川清流維持の面からも効果的と思います。
172	過去の洪水を分析し、今後の対策、整備を行うべきと考える。
173	スマホで200ページは目が追い付かない。市民に意見を求めるなら20ページ程度のダイジェスト版が良い。1/3程で挫折した。 1/200、1/300が不可能は理解するが、床上浸水は失望しかない。政治との連携は！ 中流域でいつまでも樹木があった。不思議に感じていた(河道内に)。筑後川の全貌を知るのには実によい。
174	堤防の整備：嵩上げについては基本的に反対。拡幅及び河道掘削で対応すべきと考える。内水排除が増々困難になる。また、堤内側への腹付は余裕があっても反対。 寺内ダム：洪水調節操作方法の変更について、 $\max 120\text{m}^3/\text{s} \rightarrow 160\text{m}^3/\text{s}$ への変更は、河川水位が上昇しすぎる事が考えられる。 洪水調節容量を増し金丸橋地点の流量を低減する様であるが、合流点～2/000までの改修も終わっておらず、又橋梁撤去もされないままの運用については不安がある。緊急放流で洪水になると不安である。

整理番号	ご意見等
175	小さな要望の声も聞かないで、何が整備計画ですか。
176	<p>筑後川の景観を見ると、久留米地区と浮羽・朝倉地区の差は何。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両岸の樹木の放置(川原、川の中に繁っている)</li> <li>・樋門の小屋(久留米は屋根付、その他何もない)政治力の差</li> </ul>
177	筑後川には多くの支流があります。そこには多くの人々の暮らしがあります。本川、支川とも安定した生活、環境を望みます。
178	筑後川は川沿いの住民にとっては貴重な多目的生活水(水道、農業用水etc)となるので、将来を考えた対応が必要であるとする。
179	支川河川、クリーク、用排水路全ての総合的管理が必要なのは誰もが知っているが金が無い。三つ子の魂以外思い浮かばない。不断の啓蒙を御願います。
180	出張所と河川事務所の方針が同じでない。迷惑をこうむるのは工事対象となる住民側で、工事を止めて何か月になりますか。(住民を馬鹿にするにも程があるぞ)
181	佐田川橋から佐田川大橋までの間に、川幅の狭い所があります。現在のままでいいのか杞憂しています。ダムの放流と川幅の関係も見直しをしてほしいものです。
182	本計画にはダム下流に対する事業が主体となっています。基本的な治水計画はダム上流部の安定が必要であると考えます。寺内ダム上流に貯砂ダムなどを作るべきだと思います。上流域の安定があって、安全な治水が実現できると思います。
183	<p>近年の気候変動による極端な豪雨に対処すべく今般河川整備計画が変更され、佐田川の治水能力向上や寺内ダムの洪水調節機能が強化される方針については大変良いことだと思います。</p> <p>洪水時の内水対策について、筑後川本流にかかる水門操作では、委託操作員や役所職員のみには責任も判断も任せたままではいけないと思う。河川事務所において、当事者へ日頃の研修や訓練をもっと多く実施し、実際の操作と内水位の変化、本流水位との関係性など記録・集積して、知識や技術の習得に利用してもらいたい。</p> <p>現場で河川管理者・識者が直接指導されることも有効であると考えますので、対応願いたいと考えます。</p>

整理番号	ご意見等
184	大雨後のサイクリングロードの砂の除去や草刈りなどの維持をありがとうございます。
185	佐田川右岸柿原地域の霞堤は、寺内ダムの大量放流では必ず圃場に逆流して来ますので、見直し(設計)をされるべきかと考えます。
186	去年のスタンプラリーがとても楽しかった。(子供達が喜んでいました。)
187	よろしくお願ひ致します。
188	社会の水利用形態の変化に合わせた、フルプランを超えた河川間、ダム間利水の変換等、水利権の完全な見直し、河川大臣が必要。
189	この計画は、概ね20年かけて実施する具体的な工事や維持管理について定めるとありますが、想定外の災害が多いので対応は柔軟でないと難しいと考えます。
190	佐田川の堆積した土砂も一部撤去されるようですが、佐田川に流れ込む牟田川(堤)～ひょうたん池～屋永上流の改修工事をして頂きたい。大雨が降ると毎回、堤～ひょうたん池までの数ヶ所が冠水。また、ひょうたん池の下流(古賀地区)の屈折した流れを改良して頂きたい。
191	筑後川大堰が建設され福岡や久留米へ都市用水等を供給されているが、筑後川本流の流れに大堰が出来ての影響はあるのか知りたい。通常は影響ないと思われるが、水量が多くなると、大堰付近で流れにくくなり、それがひいては筑後川水位の急上昇につながっているのではと考える。筑後川にある堰などを見ると、堰の上流部は必ずと言っていいほど河川敷が冠水しているため。 内水氾濫時 国交省には久留米市内(市街地)を守るため、他の農村部の農地は犠牲になっても構わないとの意思が見え隠れするのは「田舎者のひがみ」なのかと思うことがしばしばある。特に、強制排水ポンプの使用について。